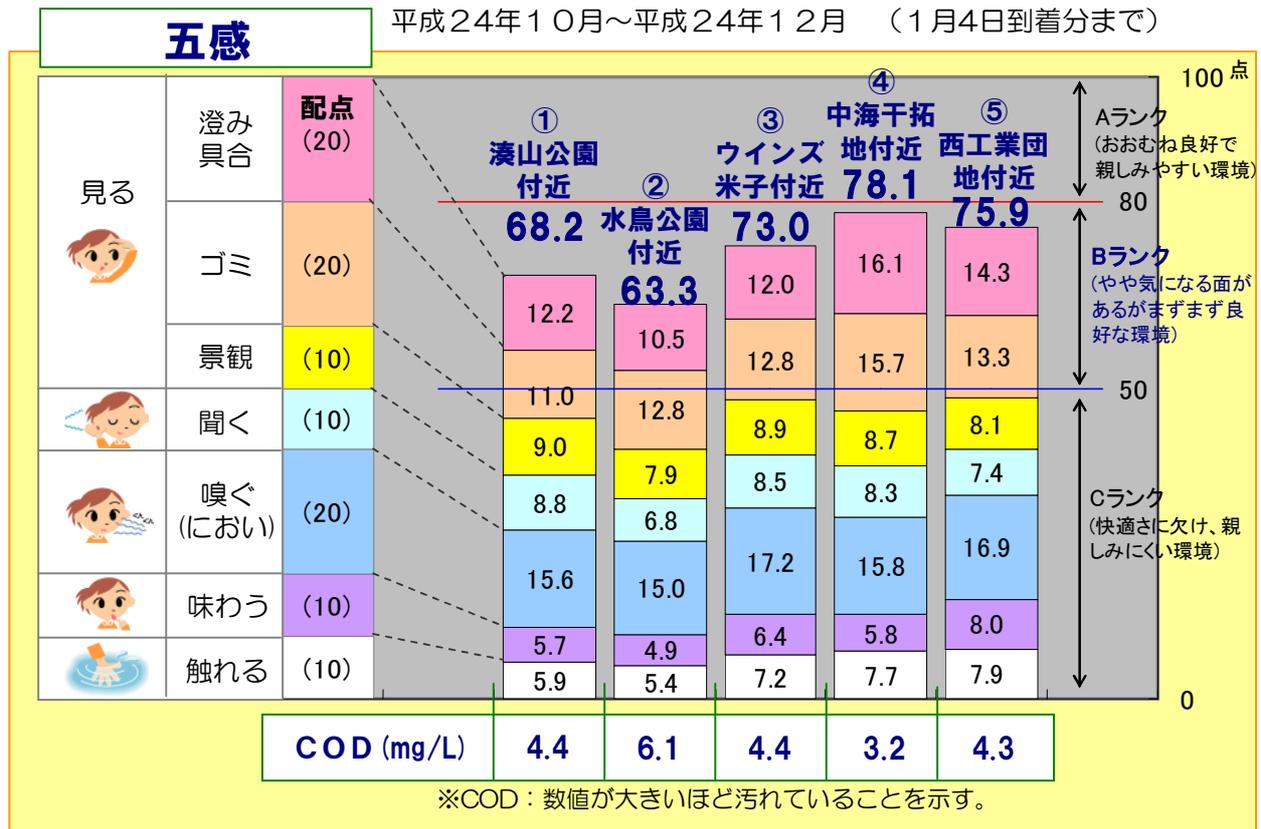


中海湖沼環境モニター通信

平成25年1月

第6期モニター中間集計 (第1四半期:平成24年10月~12月)

寒さがきびしい日が続いております。そんな中、いつも調査にお出かけ頂きありがとうございます。第1四半期の結果を集計しましたのでお知らせします。本年もよろしくお願いいたします。



- 合計点は全ての地点でBランク。(最高点:④中海干拓地付近 78.1点、最低点:②水鳥公園付近 63.3)
- 「澄み具合」は、昨年同期と比べ④中海干拓地で高くなっており、他の地点ではいずれも低かった。
- 「見る(景観)」「嗅ぐ(におい)」の点数が全地点とも比較的高かった。
- 水質(COD)は、全体的に前回(第4四半期(H24. 8月~10月))より改善傾向を示した。

モニター感想・気づいたこと (ほんの一部です)

(※)提供いただいた写真は中海湖沼環境モニターのホームページに掲載しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=71255>

① 湊山公園付近	【10月】・ 穏やかな錦海風景 。10 艇ほど練習しているボートが見える。 ・ぼら(?)の稚魚が飛び跳ねていた。釣りをしている人が5人くらいいた。 ・ジョギングや写真を撮る人など沢山来られていたので、 親しみを感じ、とても良かった。	
	【11月】・鴨の群れがのんびり泳いでいてのどかな風景でした。 ・ ゴミが少なく 、また水鳥がいて夕日がまぶしかった ・西に傾いていた太陽が湖面に反射し、きれいな風景を作り出している。	
	【12月】・ 城山より鳥の鳴き声が聞こえ、ゆったりとした気分になれる。 ・ 城山からは鳥のさえずり、風もなく穏やかな風。 ・岸辺にいた鴨の集団が水面を滑走路にしてしぶきを上げ飛び立つ姿は豪快だった。	

② 水鳥公園付近	<p>【10月】・水鳥の「グエッグエツ」「ピロロロ…」の音が気持ちよかった。 ・水面には藻が固まって浮いていた。水をくみ上げた容器にもたくさん藻が付着した。 ・建設重機の音が気になった。雨でも水鳥が多く見られた。 ・予想外に水が澄んでいて、岩場から1～2mさきまでは湖底が見えるほどで驚いた。</p> <p>【11月】・空気は冷たく、対岸はかすんでいる。鴨が大量に泳いでいた。 ・水は濁って茶色でした。水鳥が水辺にも空にも飛んでいて、たくさんいました。 ・水鳥の数が多く、鳴き声が良く聞こえた。</p> <p>【12月】・内海にしては波が高く、雪もちらついており、鴨も波や風で泳ぎにくそう。 ・《承水路》対岸の工場の音が気になる。 ・《中海側》風が強いため、全体的に濁っている。</p>	 
③ ウインズ米子付近	<p>【10月】・粉末状の黄色の浮遊物で湖水が染まっていた。 ・湖底に茶色の海藻のようなものが大量に堆積していた。 ・鳥の声、鴨が3羽、風もなく青空。ボラが飛び跳ね何とも心が穏やかになる。</p> <p>【11月】・安来方向から小波が岸辺を洗っている。 ・10月に比べ藻のようなものが減少し、湖底の白砂が所々のぞいていた。流木2点ゲット。鯨と、小鳥です。 ・薄雲のなかに夕日がとてもきれいです。鴨もゆっくり浮かんでいます。</p> <p>【12月】・荒天が続いていたためか、ゴミが打ちあげられ湖水が濁っている。湖面の水鳥の姿が非常に少ない。 ・水がやや濁ってみえたが汲み上げて見ると濁りは判らない。 ・12月になって釣人はほとんど見られなくなった。</p>	  <p>流木（小鳥）</p>
④ 中海干拓地付近	<p>【10月】・《干拓地南側》景観は滑走路エンド越しに伯耆大山が見える絶景。海水は綺麗だが、さすがにゴミ（ペットボトル、リュックサック、ビニール等）の漂着が多い。 ・《中浜港》水面は穏やかであったが、若干アオコが浮遊していた。 ・ゴミはアシ等が見られたが人工的なゴミは少なかった。 ・鴨が10数羽岸部近くで遊んでおり、江島大橋の美しいライン等、眺望は素晴らしい。</p> <p>【11月】・《中浜港》少年野球の応援の音が気持ちよく感じた。やや臭く感じた。（肥やしの匂い?）。 ・東風のためか漂着ゴミも少なく前回よりもきれいになっていた。水鳥も見られ海面も穏やかで澄んでいた。 ・普段は岸辺近くまで寄っている鴨が1羽もいない。ただ排水用貯水池に20数羽が集まっていた。鴨も風が冷たかったのかも!?</p> <p>【12月】・茶色と白の混ざった鴨が100羽ぐらいいた。</p>	
⑤ 西工業団地付近	<p>【10月】・イルカが泳いでいた。釣り人が今日はジャンプするのを見たと言ってくれた。 ・久しぶりに釣り（エノハ）をする人が、十数人もいて賑わっていた。そのせいか、いつも綺麗なこの場所が少し汚れていた。 ・穏やかな天気釣り人が多数。エノハが1時間位で50匹釣れたそうです。</p> <p>【11月】・釣り人が少なかった。海には船が3隻釣りをしていた。エノハを狙っているそうです。 ・このところ、西風が少く南よりの強い風が吹くことから、この時期にしては例年に比べかなりのゴミの量は少ない。 ・島根半島が紅葉できれいです。例年に比べ大分遅れているようです。</p> <p>【12月】・雪が少しちらつきとても寒かった。釣り人もおらず風の音で近くの工場も稼働してるとかからない状況で、寒々しい感じだった。風が強くと波が荒かった。</p>	

アマモシート移植イベント開催

NPO 未来守りネットワークとNPO 自然再生センターが主催するアマモ移植イベントが、11月10日に境港市内で開催されました。

このイベントは、水質を浄化などの働きがある海藻のアマモを繁殖させることで、中海の自然浄化機能の回復を図るとともに、参加した子ども達のアマモの役割を理解することで、次の世代へ環境保全の意識を育てることを目的としており、この日は、子ども達を含む約40名が参加されました。



移植するアマモシートを作るため、アマモの種を混ぜ込んだ糊を塗りつけてます。

更にヤシガラマットと金網を取り付けてバラバラにならないようにして、準備OK!

アマモを植え付ける場所(境港市清水港)に移動して、ダイバーさんに設置してもらったよ。



境港で、ギョギョっと…開催!

ラムサール条約登録湿地「中海・宍道湖」の合同シンポジウム「ギョギョっと、びっくり、さかなクン! 中海・宍道湖のお魚たちとともに~!!」が、12月15日(土)に境港市で開催されました。

このイベントでは、宍道湖や中海で活動している子どもたちが、今年の活動について報告してくれました。



もちろんモニターの米子水鳥公園 Jr レンジャーのみんなも発表してくれましたよ。

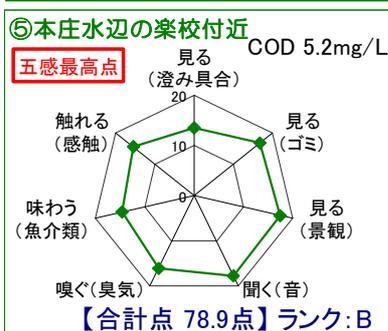
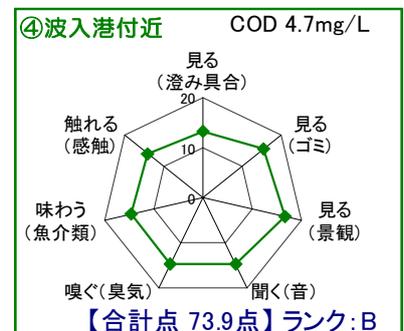
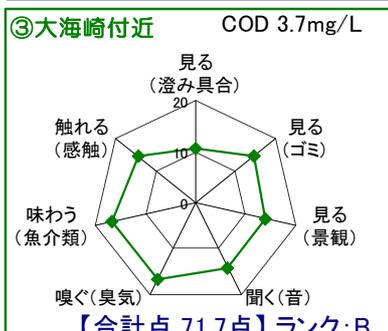
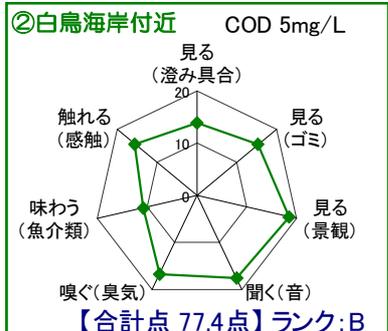
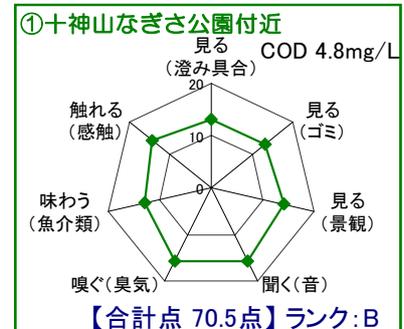
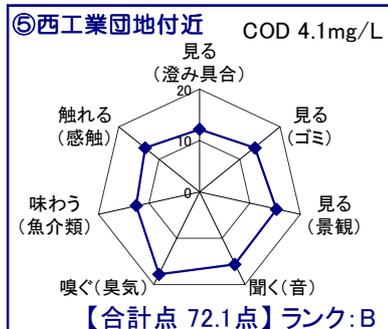
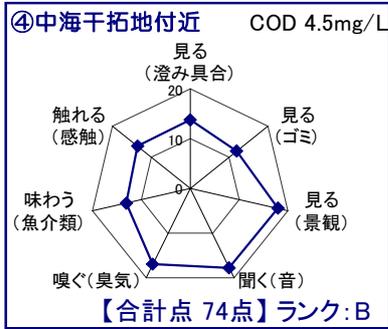
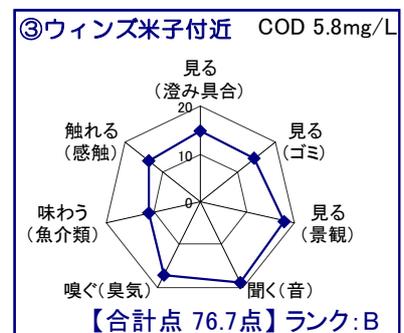
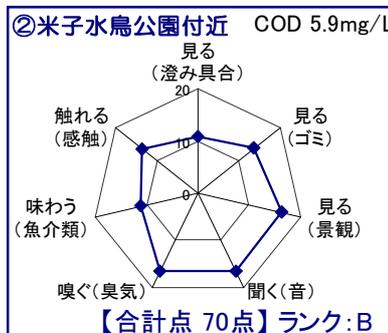
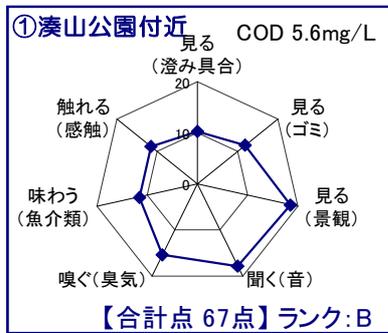
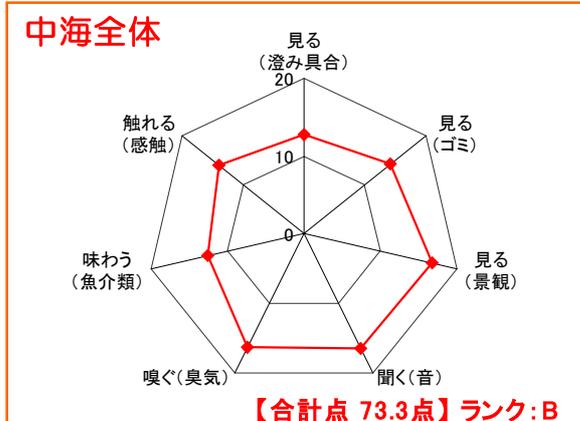


報告の後は、ギョギョバイザーのさかなクンのトークショーもあり、中海にすんでいるお魚をイラストで描きながら楽しく紹介してくださいました。

第5期の中海湖沿環境モニターの結果

鳥取・島根両県の第5期（平成23年10月～平成24年9月）の結果がまとまりました。ホームページでも公開しています。ご覧下さい。

(<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=174134>)



(担当) 鳥取県西部総合事務所 生活環境局
環境・循環推進課 環境衛生担当